

**【日程】**

2015 年 3 月 7 日（土）13:00～17:15 （懇親会 18 時～）

2015 年 3 月 8 日（日）9:00～17:00

**【場所】** 名古屋市立大学医学部研究棟 11 階講義室 A

愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 （地下鉄桜通線桜山駅徒歩 1 分）

**【参加条件】** 心理関連領域の専門職および大学院生に限ります。

※ 今回のミーティングは映像を用いた事例検討を行います。守秘義務のある資格（臨床心理士、医師等）を持たない方には、個人情報保護誓約書を当日受付で記入していただきます。

**【参加費】** 一般=4,000 円、大学院生=2,000 円（2 日間通して） 懇親会費は未定です。

**【テーマ】「ACT をはじめる・実践する」**

ACT の第 2 版公式マニュアル日本語訳も発売され、臨床で実施している、実施しようとしている臨床家も多いと思われます。そのような臨床家がさらなる一歩を踏み出せることが目的のミーティングです。

**【プログラムの概要】**

**(1) 事例検討「個人セッションの映像による事例検討」 120 分×2 症例**

ACT は書籍等だけではセッションの雰囲気がかみにくいという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回のミーティングでは、セッションの映像を用いた事例検討を行います。

発表者：2 名（未定）

座長（事例検討 1）：武藤崇（同志社大学）

座長（事例検討 2）：熊野宏昭（早稲田大学）

**(2) シンポジウム「グループセラピーの工夫」 120 分**

ACT のグループセラピーに取り組んでいる 4 人のシンポジストより、取り組みの概要や、グループならではの問題と工夫している点などについてご発表いただきます。その後、フロアを交えてディスカッションを行う予定です。

シンポジスト（50 音順）：

井野敬子（名古屋市立大学）、加賀美佳子（五十嵐こころのクリニック）

小松広幸（ほづみクリニック）、坂野朝子（同志社大学）

座長：近藤真前（名古屋市立大学）

**(3) レクチャー「臨床行動分析入門」 90 分**

ACT の臨床を実践するには、その背景理論を理解することが必要です。このレクチャーは「行動分析や関係フレーム理論と ACT のつながり」がテーマです。

講師：大月友（早稲田大学）

#### (4) パネルディスカッション「今さら聞けない、でも聞いてみよう」 135分

1日目に参加者からACTに関する質問を募集します。このパネルディスカッションでは、その質問にパネリストが答えながらフロアを交えて自由にディスカッションを行う予定です。

パネリスト（50音順）：

熊野宏昭（早稲田大学）、酒井美枝（同志社大学）、高橋稔（目白大学）、武藤崇（同志社大学）

座長：小川成（名古屋市立大学）

#### 【タイムスケジュール】

##### 3月7日（土）

13:00～15:00 事例検討1

15:15～17:15 シンポジウム「グループセラピーの工夫」

18:00～ 懇親会

##### 3月8日（日）

09:00～11:00 事例検討2

11:10～11:30 総会

11:30～13:00 昼食休憩

13:00～14:30 レクチャー「臨床行動分析入門」

14:45～17:00 パネルディスカッション「今さら聞けない、でも聞いてみよう」

#### 【事例検討の応募条件】

1. 募集する事例は「ACTの個人セッション」です。他の学会および学会誌等で公表したものでかまいません。
2. 1セッションの一部でも録画映像があることが必要です。今回の事例検討は、書籍やワークショップだけでは伝わりにくい、実際のセッションの雰囲気や伝わる映像を用います。セラピストとクライアントの振る舞いがわかる程度の映像が必要です。
3. クライアントおよび所属機関から発表同意が得られているなど、一般的な倫理的手続きを経ている必要があります。さらに、クライアントの希望に合わせて必要ならば個人情報に関する映像や音声を消去・加工するなど、可能な限り個人情報の保護に努めてください。発表する内容を事前にお知らせいただき、事務局で倫理的配慮に対するチェックをさせていただきます。場合によっては、発表をご辞退いただくこともございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。
4. 事例検討は、事例発表90分、質疑・討論30分を目安に行います。その予定に合わせて、セッション映像やスライドなどを準備できることが必要です。
5. 発表の応募が3件以上となった場合は、事務局により選考させていただきます。
6. 事例発表の申込：事例発表をご希望の方は、参加申込書と併せて、必ず発表内容の概要（1200字程度）についてもご送付ください。なお、他学会等で既に発表したケースの場合は、発表論文や原稿をご送付くださいますようお願い申し上げます。